

町内会のみなさま

町内会

会長

令和__年__月__日(__)実施！ 大規模災害発生時の 安否確認訓練

時 分～ 時 分の間、玄関先に
安否確認札を出してください。



その後、組長が各世帯の安否確認札の掲出状況を見て回ります。

なぜそんなことするの？

いち早く救助が必要な人を発見するためです！

◎阪神・淡路大震災で亡くなった方は

- ・ 約8割の方が倒れてきた家屋や家具による圧迫・窒息によるものでした。
- ・ 9割以上の方が 14 分以内に亡くなりました。

つまり、発災初期にすばやく安否確認をして、救助が必要な方の早期発見と救出へとつなぐことで、発見が遅れることにより失われる命を救うことができます。

【大規模地震発生時の安否確認の流れ(例)】

災害発生 名古屋市中村区において震度6弱を記録する地震が発生！
ご自身の身の安全を確保し、揺れが収まったら火の元の確認をしてください。

玄関先に安否確認札を掲出

世帯全員が無事で救助の必要はないことを示すサインです。



避難の選択

ご自宅の被災状況に応じて避難所へ避難するか、
自宅で在宅避難するか選択してください。



組長が各世帯の「安否確認札の掲出状況」を確認

安否確認札の掲出 有り

安否確認札の掲出 無し



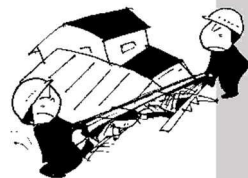
組長が声掛けして安否を確認

組長が確認表にチェック

無事を確認

救助が必要

救出救護班に
より救助活動



各組長が現地本部(一時集合場所)へ行き、
組内の安否情報を報告する。

町内会全体の安否情報を集約する。

